

# MR I 造影剤 問診表 説明同意書

患者氏名 \_\_\_\_\_

MR I 造影剤は静脈注射で体内に投与することにより、非常に有用な情報が得られる薬剤ではありますが、時に副作用が見られる場合があります。吐き気、嘔吐、発疹（蕁麻疹等）が主なものですが、まれに血圧低下（ショック）を起こす事があり、致命的に至った事例の報告もあります。造影検査より安全に行うために下記の質問にお応えください。

1・以前に造影剤を使用したMR I 検査を受けたことがありますか。	はい ・ いいえ
2・気管支喘息がありますか。	ある ・ ない
※なお、気管支喘息や肝臓・腎臓・心臓の重篤な疾患を有する患者に対する投与は原則厳禁となっています。造影検査がどうしても必要な場合は、主治医立ち会いのもとに行ったほうが望ましい。	
3・アレルギー体質かアレルギー性の病気がありますか。 蕁麻疹（食物・薬）、アレルギー性鼻炎	ある ・ ない
4・腎障害はありますか。 クレアチニン値	ある ・ ない _____ mg/dl
5・体重を教えてください。	_____ kg
6・女性のみ、お答えください。現在妊娠の可能性はありますか。	ある ・ ない
※授乳中の方へ MRI 造影剤は、投与から排泄まで最低 24 時間。腸の動きを抑える注射は、排泄まで 6 時間かかります。授乳中の場合、最低 24 時間は授乳を中止し、可能であれば 2 日程度授乳を避けてください。不明な点がございましたら放射線科医師に何なりとご相談ください。	

私はMR I 造影剤の有用性及び副作用について説明を受け、問診を受けました。  
その上で、造影剤を使用するMR I 検査を受ける事に同意しました。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

患者氏名 \_\_\_\_\_

主治医 \_\_\_\_\_